

平成 24 年度ウトロ海域部会 協働事業—トークシモイデコイ設置(一部修正加筆)

作成：ウトロ自然保護官事務所

2012. 4

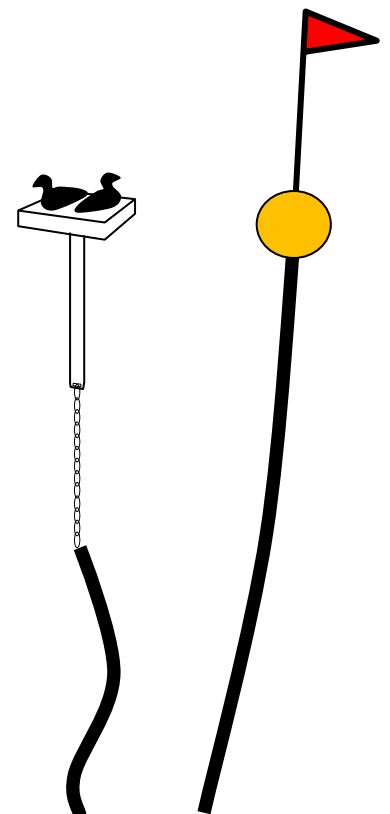
ウトロ海域の自然環境の保全と活用の取組は、懇談会として平成 21 年度から始まり、平成 22 年度からは保全と活用の両面での 3 カ年計画の活動を開始し、一定の成果が得られた。平成 24 年度はウトロ海域部会としてデコイ設置による保全と活用の事業を拡張し、協働型の活動を進めたい。

デコイ設置計画

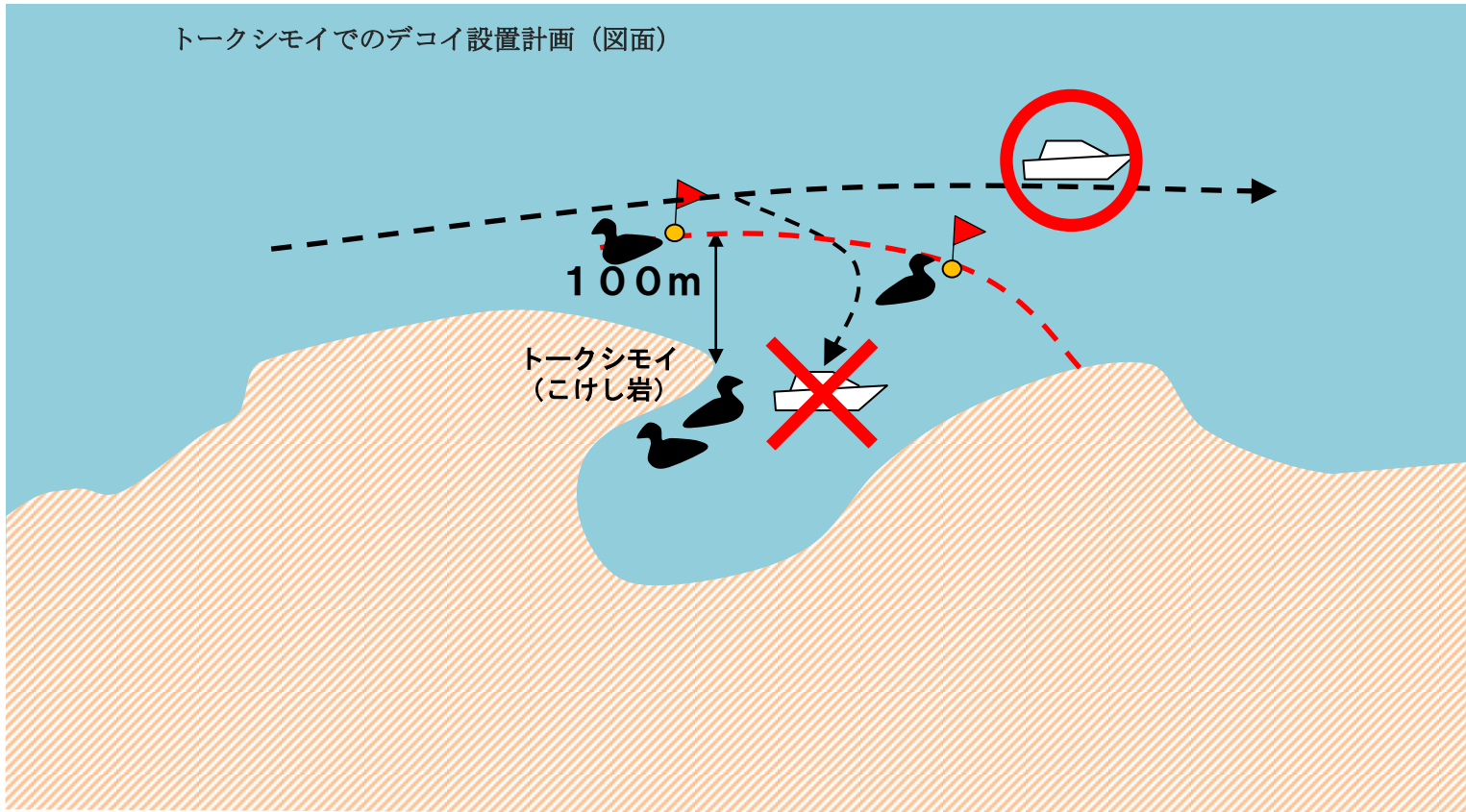
- トークシモイのデコイを 1 基から 4 基に増やす。
 - 営巣地としてのケイマフリの定着を目指す。
 - デコイは観光利用の見せデコイの役割もする。
 - デコイのうち外洋側の 2 つを繁殖時期に断崖に接近しないための目印とする。
 - ケイマフリの繁殖等の状況について、観察調査の結果を観光船事業者へ情報提供し、お客様への話題提供ができるようにする。
 - トークシモイでは繁殖時期(5~7 月)は断崖から距離をおき、観察結果から巣立った後には、断崖近くに入り巣のありかに近づけるようにする。
 - もってケイマフリの保全と活用の両立を図る。

実行手順

- ① 部会有識者（知床博物館、海鳥研究会）及び漁協とデコイ設置計画を設定する。(3 月中旬)
- ② デコイ設置計画を観光船事業者、ガイド協議会に通知し、協力を要請する。(4 月中旬)
- ③ 漁組、海鳥研究会の協力のもと、デコイを設置し、デコイによる保全・活用事業開始 (GW 頃→5/2 設置、8/3 再設置)
繁殖期間においては、外洋側に設置する目印付きの 2 つのデコイのラインより内側に船を乗り入れない。(5~7 月→8 月)
- ④ 海鳥の繁殖状況について海鳥研究会が調査し、各観光船事業者へ情報提供する。
- ⑤ 巣立ち後は、その旨各観光船事業者へ連絡し、**規制ラインを解除 (8 月)**海鳥研究会で規制ラインとした外洋側デコイ 2 基を撤去する(8 月頃)。
- ⑥ トークシモイの断崖側のデコイ 2 基は 10 月まで設置し、撤去は観光船事業者の協力のもと行う。



トークシモイでのデコイ設置計画（図面）



トークシモイの営巣地近くに2箇所デコイを設置

また、トークシモイの断崖から100m沖に2箇所デコイ+目印を設置

トークシモイ周辺を案内する際には、沖側の2つのデコイの外側をとおり、ケイマフリの繁殖環境を守りながら、観察を行う。

営巣・繁殖の状況は知床海鳥研究会が調査し、調査結果については観光船事業者にお知らせする。

観光船からもデコイの周囲でのケイマフリ等海鳥の観察の情報があれば、記録し、ウトロ自然保護官事務所へお寄せいただきたい。

問い合わせ先：ウトロ自然保護官事務所

担当：自然保護官 野川

電話： 0152-24-2297

FAX：0152-24-3646

E-mail：HIROSHI_NOGAWA@env.go.jp